



平成25年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月8日

上場取引所 東 大

上場会社名 タキロン株式会社

コード番号 4215 URL <http://www.takiron.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 兵頭 克盛

問合せ先責任者 (役職名) 業務部長

(氏名) 武田 豊

TEL 06-6453-3845

四半期報告書提出予定日 平成25年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第3四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第3四半期	51,380	△0.6	3,709	5.3	3,889	7.6	2,823	95.4
24年3月期第3四半期	51,699	2.8	3,523	0.6	3,614	7.5	1,445	△30.0

(注) 包括利益 25年3月期第3四半期 2,809百万円 (120.1%) 24年3月期第3四半期 1,276百万円 (△36.0%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年3月期第3四半期	39.40	—
24年3月期第3四半期	19.99	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年3月期第3四半期	76,218	43,894	56.7	603.21
24年3月期	78,610	41,725	52.2	572.82

(参考) 自己資本 25年3月期第3四半期 43,235百万円 24年3月期 41,058百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	5.00	9.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	70,000	2.7	4,400	3.9	4,200	△3.3	2,700	38.4	37.67

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期3Q	78,698,816 株	24年3月期	78,698,816 株
② 期末自己株式数	25年3月期3Q	7,023,255 株	24年3月期	7,021,026 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	25年3月期3Q	71,676,846 株	24年3月期3Q	72,313,611 株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)2ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

[目次]

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	P. 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	P. 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	P. 2
2. サマリー情報（その他）に関する情報	P. 3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	P. 3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	P. 3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	P. 3
(4) 追加情報	P. 3
3. 連結財務諸表等	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 継続企業の前提に関する注記	P. 8
(4) セグメント情報等	P. 8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	P. 8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災からの復興需要が引き続き下支えするなかで、景気は緩やかに持ち直しの動きが見られましたが、依然として厳しさが残る雇用情勢や長引くデフレ、さらに海外景気の鈍化の影響を受けて、輸出企業を中心に生産活動の減少、設備投資の弱含みの動きなど景気減速感が広がりました。

このような状況のもと、当第3四半期連結累計期間の連結業績は、売上高は513億8千万円（前年同四半期比0.6%減）、営業利益は37億9百万円（前年同四半期比5.3%増）、経常利益は38億8千9百万円（前年同四半期比7.6%増）となりました。また、四半期純利益は、退職給付制度改定益（特別利益）を9億2千7百万円計上した結果、28億2千3百万円（前年同四半期比95.4%増）となりました。

セグメント別の事業の状況は、次のとおりであります。

住環境事業

住設資材部門は、戸建住宅の新設住宅着工戸数が前年比横ばい傾向にあったことから、雨どいシステムのジェットラインや小口径マスのパイプインバート等の管工機材、内装材等の住宅資材の需要が伸び悩み、売上は前年同四半期並みとなりました。

採光建材部門は、建造物の自然採光による省エネ化及び改修向けに各種ポリカーボネート製品の売上は増加しましたが、道路等のインフラ関連需要が落ち込んだことから、売上は前年同四半期を下回りました。

環境・土木部門は、農地整備事業の需要増加により、売上は前年同四半期を上回りました。

エンジニアリング部門は、管更生分野（下水管渠のリニューアル資材）が、上期は政令指定都市の物件と鉄道向けの需要が増加しましたが、下期に入って全国的に物件発注が鈍化したことにより、売上は前年同四半期並みとなりました。

その結果、住環境事業の売上高は、278億1千9百万円（前年同四半期比3.5%増）、営業利益は、23億4千7百万円（前年同四半期比48.5%増）となりました。

床事業

床事業は、高付加価値製品の販売が好調に推移したことにより、売上は前年同四半期を上回りました。

その結果、床事業の売上高は、78億3千6百万円（前年同四半期比8.7%増）、営業利益は、20億4千8百万円（前年同四半期比18.0%増）となりました。

高機能材事業

プレート部門は、世界的な半導体・液晶装置の市場の低迷や円高の影響により、FMプレート（難燃材料）や制電プレートなど工業用プレートの需要が低迷し、売上は前年同四半期を下回りました。

ポリカプレート部門は、携帯関連用途の光学品の売上は、前年同四半期を上回りましたが、半導体関連用途の高機能品及び一般産業機械カバー用途を中心とした汎用品の売上が伸び悩み、売上は前年同四半期を下回りました。

その結果、高機能材事業の売上高は、142億4千9百万円（前年同四半期比11.1%減）、営業損失は、4億5千1百万円（前年同四半期は2億2千2百万円の営業利益）となりました。

メディカル事業

骨接合材料部門は、頭蓋顎顔面外科分野のスーパーフィクソープMXの販売は、ほぼ前年並みの水準で推移しましたが、整形外科分野を中心とするスーパーフィクソープの販売が低迷したことにより、売上は前年同四半期を下回りました。

その結果、メディカル事業の売上高は、14億7千5百万円（前年同四半期比6.1%減）、営業損失は、2億3千6百万円（前年同四半期は1千6百万円の営業損失）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

(資産、負債及び純資産の状況)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より23億9千2百万円減少し、762億1千8百万円となりました。これは、主に有形固定資産が7億2千6百万円減少したことと、商品及び製品が4億9千万円、受取手形及び売掛金が4億7千8百万円減少したことによるものです。一方、負債は、前連結会計年度末より45億6千1百万円減少し、323億2千3百万円となりました。これは主に支払手形及び買掛金が14億6千8百万円減少したことと、短期借入金が11億2千2百万円、企業年金制度改訂により退職給付引当金が9億5千1百万円減少したことによるものです。また、純資産は、前連結会計年度末より21億6千8百万円増加し、438億9千4百万円となりました。自己資本比率は、56.7%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年11月8日に公表いたしました連結業績予想から変更ありません。

2. サマリー情報（その他）に関する情報

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
(税金費用の計算)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ40百万円増加しております。

(4) 追加情報

(退職給付引当金)

当社は、平成24年4月1日付で、企業年金制度の改訂を行いました。

この改訂により、退職給付債務が12億3千3百万円減少し、これにより生じた過去勤務債務(12億3千3百万円)と未認識数理計算上の差異の未処理額(3億6百万円)の純額を一括で退職給付制度改定益(特別利益)として処理しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,209	7,309
受取手形及び売掛金	25,917	25,438
有価証券	20	20
商品及び製品	7,038	6,548
仕掛品	2,636	2,581
原材料及び貯蔵品	1,639	1,699
繰延税金資産	812	763
その他	1,007	890
貸倒引当金	△160	△178
流動資産合計	46,120	45,072
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,180	7,904
機械装置及び運搬具(純額)	4,602	4,265
土地	10,073	10,073
建設仮勘定	152	165
その他(純額)	1,048	922
有形固定資産合計	24,057	23,330
無形固定資産		
のれん	291	200
その他	470	405
無形固定資産合計	762	606
投資その他の資産		
投資有価証券	3,188	2,889
繰延税金資産	3,287	3,274
その他	1,329	1,200
貸倒引当金	△134	△154
投資その他の資産合計	7,670	7,209
固定資産合計	32,490	31,145
資産合計	78,610	76,218

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成24年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	14,061	12,593
短期借入金	3,544	2,421
未払法人税等	1,348	1,257
賞与引当金	960	404
その他	3,426	3,089
流動負債合計	23,341	19,766
固定負債		
長期借入金	1,500	1,500
繰延税金負債	829	827
退職給付引当金	9,941	8,990
役員退職慰労引当金	191	182
資産除去債務	202	203
その他	879	854
固定負債合計	13,544	12,556
負債合計	36,885	32,323
純資産の部		
株主資本		
資本金	15,189	15,189
資本剰余金	14,667	14,667
利益剰余金	13,007	15,195
自己株式	△2,011	△2,012
株主資本合計	40,851	43,039
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	288	276
為替換算調整勘定	△81	△80
その他の包括利益累計額合計	207	196
少数株主持分	666	658
純資産合計	41,725	43,894
負債純資産合計	78,610	76,218

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)
売上高	51,699	51,380
売上原価	34,392	34,021
売上総利益	17,306	17,358
販売費及び一般管理費	13,783	13,649
営業利益	3,523	3,709
営業外収益		
受取配当金	69	81
その他	205	202
営業外収益合計	274	283
営業外費用		
支払利息	61	49
たな卸資産処分損	31	—
為替差損	16	—
売上割引	37	39
その他	37	14
営業外費用合計	183	103
経常利益	3,614	3,889
特別利益		
投資有価証券売却益	—	17
退職給付制度改定益	—	927
その他	0	—
特別利益合計	0	944
特別損失		
固定資産処分損	57	26
投資有価証券売却損	—	33
災害による損失	64	—
事務所移転費用	52	—
投資有価証券評価損	14	—
特別損失合計	188	60
税金等調整前四半期純利益	3,426	4,773
法人税等	1,941	1,952
少数株主損益調整前四半期純利益	1,485	2,821
少数株主利益又は少数株主損失(△)	40	△2
四半期純利益	1,445	2,823

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,485	2,821
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△196	△13
為替換算調整勘定	△7	△0
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	1
その他の包括利益合計	△209	△11
四半期包括利益	1,276	2,809
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,235	2,812
少数株主に係る四半期包括利益	40	△3

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません

(4) セグメント情報等

(セグメント情報)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年4月1日至平成23年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	26,888	7,207	16,032	1,570	51,699	—	51,699
セグメント間の内部 売上高又は振替高	32	9	20	—	62	(62)	—
計	26,920	7,217	16,053	1,570	51,761	(62)	51,699
セグメント利益 又は損失(△)	1,580	1,736	222	△16	3,523	—	3,523

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年12月31日)

1 報告セグメントごとの売上高、利益または損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額	計
	住環境	床	高機能材	メディカル	計		
売上高							
外部顧客への売上高	27,819	7,836	14,249	1,475	51,380	—	51,380
セグメント間の内部 売上高又は振替高	26	9	40	—	76	(76)	—
計	27,845	7,845	14,290	1,475	51,456	(76)	51,380
セグメント利益 又は損失(△)	2,347	2,048	△451	△236	3,709	—	3,709

(注) セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益又は損失と一致しております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。